



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
皮膚科：大竹 美乃里

【研究責任者】

聖路加国際病院 皮膚科 大竹 美乃里

【指導医】

聖路加国際病院 皮膚科 善家由香理
聖路加国際大学 皮膚科 新井 達

血管内リンパ腫が疑われた方を対象にした

ランダム皮膚生検に関する研究

1.研究の対象

2003年8月～2024年4月に当院皮膚科にて、血管内リンパ腫(血管内大細胞型B細胞リンパ腫)が疑われ、ランダム皮膚生検を受けられた、もしくは、ランダム皮膚生検以外の方法で血管内大細胞型B細胞リンパ腫の診断となった方

2.研究の目的・方法

血管内大細胞型B細胞リンパ腫は、一般的に悪性リンパ腫の特徴であると言われているリンパ節の腫れ(腫大)がみられず、リンパ腫細胞は小血管内にとどまり増殖し、血管外にはリンパ節の腫瘤を形成しません。そのため、診断が難しく、以前は生前に診断できないことも多い疾患でした。しかし、正常な皮膚からでも腫瘍細胞が検出されることが判明して以降、ランダム皮膚生検によって、低侵襲かつ高い精度で診断できるようになり、血管内大細胞型B細胞リンパ腫の診断が行われています。今回、血管内大細胞型B細胞リンパ腫が疑われた方を対象に行われたランダム皮膚生検について調査することで、不要なランダム皮膚生検を減らし、ランダム皮膚生検の適用となる評価項目を検討し、迅速な診断・治療に繋げることを目的としています。

なお、この調査では、通常の保険診療以外の医療行為を行うことはなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は、研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。

当該データの利用開始は、2024年6月17日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、ID、各検査データ、皮膚生検施行歴 等